-	^{斗目} ード	3151	ナンバリング	BAA100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期		
科	目名	経営学 1-BC								
科目	英語名	名 Management 1-BC								
担当教員 吉村 司										
	• 免許)関連	ビジネスキャリア	介護福祉士資格取得のための選択必須科目 ビジネスキャリアコース推奨科目 ビジネス実務士資格取得のための選択必須科目							
学值	コロナ渦以降の日本企業は空前の危機的状況とチャンス到来の両方に直面しており、経営者、社員、パートナーが一体となって顧客に対応してリスクを回避し、ビジネスを伸ばすアイデアを継続的に創造する力が求められている。 本授業は経営学に基づいたビジネス・キーワードをベースに、最新の企業活動のケース・スタディも交えながら日本企業の現実を直視・理解し、進路決定、就活や卒業後のビジネス課題発見と解決力を備えた「経営人材」を目指して育成していく。なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【ビジネス基礎理論】ビジネスや経営を行うために必要な理論や先行研究を学ぶ」に該当する。 1. 日本企業で実践されているビジネス・キーワードを理解して説明出来る。 2. 経営学の基本体系を理解して説明出来る。 3. 自身が目指す「経営人材」が説明出来る。									
		授業	計画		事前学修及で	『必要時間	事後生	学修及び必要時間		
オリエンテーション、「経営学」とは ※各回のテーマは適宜変更する場合がある		5 5	まずシラバスを熟読し、本授業での学修目標や 抱負および 自己紹介を 2~3 分で発表できるようにまとめ、テキストの第1章を読んでおく(1.5 時間)		で、気で 程度で ル送信(2)「IDR ₂ 来文献等名 授業テー	:授業のポイント(学き、実践) を 150 字 i潔にまとめてメー 0.5 時間) に授業での学びを将にどう活かすか」を・種情報を加味して・マに即した考察を字程度でメール送信				
2	2 経営組織論 I 経営管理の始まり (官僚制、PDCA、三種の神器)		また。 乗 と 多	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)		き な 気 で 程度信(ル送信(2)「IDR」 来文献等名 授業テー	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)			
3	3 経営組織論 II 意思決定 (組織均衡、組織学習、サイモンの意思決定)		大定) 大定) と	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)		き な 気 で 程度信(ル 之)「IDR」 来文献等名 授業テー	:授業のポイント(学き、実践) を 150 字			
4		fl織論Ⅲ 組織デザィ 終部制、マトリック		論 上能学)	毎回授業テーマと - ワード(カッコ 科書を読んで理解	内の言葉)を	キ 1)「QR」 教 び、気づ	:授業のポイント (学 き、実践) を 150 字 i潔にまとめてメー		

		Man 7 H 7 M 7 M 7 M 7 M 7 M 7 M 7 M 7 M 7 M	,)\\ \=\(\(\rightarrow\) = \(\rightarrow\)
		疑問を持ったテーマ/キーワード について、1 分間スピーチでの 発表を前提に予習・準備してお く(1.5 時間)	ル送信(0.5 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2 時間)
5	経営組織論IV モチベーション (人間関係論、期待理論、内発的動機づけ)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
6	経営組織論V リーダー (リーダーシップ論、管理者行動論、サーバント・リー ダシップ)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード (カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
7	経営戦略論 I 経営戦略と全社戦略 (多角化、シナジー効果、事業ドメイン)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間)2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
8	経営戦略論 II 競争戦略 (コストリーダーシップ、差別化、集中)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学 び、気づき、実践)を150字 程度で簡潔にまとめてメー ル送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将 来の仕事にどう活かすか」を 文献等各種情報を加味して 授業テーマに即した考察を 述べ500字程度でメール送信 (2時間)
9	経営戦略論Ⅲ 事業戦略 (ファイブ・フォース・モデル、 資源ベース理論)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を

10	経営戦略論IV アウトソーシング (系列取引、製品アーキテクチャー)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード (カッコ内の言葉) を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	述べ500字程度でメール送信 (2 時間) 1)「QR」:授業のポイント(学 び、気づき、実践)を150字 程度で簡潔にまとめてメー ル送信(0.5 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将 来の仕事にどう活かすか」を 文献等各種情報を加味して 授業テーマに即した考察を 述べ500字程度でメール送信 (2 時間)
11	経営戦略論V カスタマーと国際経営 (パレートの法則、海外直接投資、グローバル経営)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード (カッコ内の言葉) を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
12	技術経営論 I 生産管理 (見込生産と受注生産、ジャスト・イン・タイム、損益 分岐点)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間)2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
13	技術経営論 II 品質経営と製品開発 (フォード・システム、ベンチマーキング、デファクト・スタンダード)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
14	技術経営論Ⅲ イノベーション (イノベーターのジレンマ、ゲートキーパー、オープ ン・イノベーション)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
15	まとめとふりかえり	これまでの授業テーマで一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワード について、1 分間スピーチ	授業の総まとめを行い、授業 でふりかえったポイントを もとに定期試験に備えるこ

での発表を前提に復習・準備し と (2.5 時間) ておく(1.5 時間)							
試 験	筆記試験						
	書 名	著	者	出版社	ISBN	備考	
教科書	大学 4 年間の経営学が 10 時間 でざっと学べる	高橋 伸き	夫	KADOKAWA (2019/1/24)	978-4046040589		
	書名	著	者	出版社	ISBN	備考	
参考書	日本のイノベーションのジレンマ:破壊的イノベーターになるための7つのステップ (第2版)	玉田 俊平太		翔泳社	9784798166384		
	評価方法		評価割合		評価基準など		
成績評価	1) 平常点		40%	①受講姿勢②1分間スピーチ③「QR」「IDR」 成度と提出率		IDR」課題等の完	
方法・基準	2) 積極性	20%	①授業内発表②傾聴力③グループ・ディスカッション貢献度				
	3) 定期試験	40%	※全項目いづれかの成績が 50%未満の場合、合計成績に 関わらず不合格となる場合がある				
備考	全授業にてグループ・ディスカッション (GD) や演習を行うため、発表・討議等受講者同士で積極的に理解・応援し合うポジティブな受講姿勢を高く評価する。一方、予習復習の不履行、課題・レポートの未提出、遅刻・居眠り・不規則発言、発表・討議への取組不足等ネガティブな受講姿勢には厳しい評価を行う。						
フィード バック							
実務経験のあ	らる教員による授業科目(※該当者	音のみ記載)				
授業内容 企業で企画営業、IT、総務人事部門で実務・マネージメント経験ある教員が、経営学の基礎理論を踏まえた上で、 経営学用語とビジネス実務に合致するキーワードを抽出し、ケーススタディを交えながら講義、演習する。							

	斗目 ード	3150	ナンバリング	BAA115	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期	
科	目名	経営学総論 2-福							
科目英語名		Management 2-福							
担当	当教員	吉村 司							
	• 免許	介護福祉士資格取得のための選択必須科目 ビジネスキャリアコース推奨科目 ビジネス宇政士等核取得のための選択必須利用							
ビジネス実務士資格取得のための選択必須科目 コロナ渦以降の日本企業は空前の危機的状況とチャンス到来の両方に直面しており、経営者、社員、一体となって顧客に対応してリスクを回避し、ビジネスを伸ばすアイデアを継続的に創造する力がる。 本授業は経営学に基づいたビジネス・キーワードをベースに、最新の企業活動のケース・スタディも本企業の現実を直視・理解し、進路決定、就活や卒業後のビジネス課題発見と解決力を備えた「経営して育成していく。なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【ビジネス基ネスや経営を行うために必要な理論や先行研究を学ぶ」に該当する。 1. 日本企業で実践されているビジネス・キーワードを理解して説明出来る。						る力が求められてい ディも交えながら日 「経営人材」を目指			
到這	達目標	 経営学の基本 自身が目指す 							
		授業	計画		事前学修及び	『必要時間	事後学	ど修及び必要時間	
1	オリエンテーション、「経営学」とは		3 E	まずシラバスを熟読し、本授業 での学修目標や 抱負および 自 己紹介を 2~3 分で発表できる ようにまとめ、テキストの第1章 を読んでおく(1.5 時間)		び、気で簡 程度信(C 2)「IDR」 来文献等子 授業テー	1)「QR」:授業のポイント(学 び、気づき、実践)を150字 程度で簡潔にまとめてメー ル送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将 来の仕事にどう活かすか」を 文献等各種情報を加味して 授業テーマに即した考察を 述べ500字程度でメール送信 (2時間)		
2	2 経営組織論 I 経営管理の始まり (官僚制、PDCA、三種の神器)		乗り	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)		で、気で簡 程度信(0. 2)「IDR」 来文献等 授業テー	:授業のポイント(学き、実践) を 150 字 潔にまとめてメー 5 時間) :授業での学びを将 にどう活かすか」を 種情報を加味して マに即した考察を 字程度でメール送信		
3		1織論Ⅱ 意思決定 战均衡、組織学習、	サイモンの意思	天 ((() () () () () () () () (毎回授業テーマと - ワード(カッコ 斗書を読んで理解 廷問を持ったテー こついて、1 分間 と表を前提に予習 ((1.5 時間)	内の言葉)を なし、一番興味 -マ/キーワー 引スピーチで	き 数:・ で 程ルン で 程ルン で に で に の が に の が に の が に が と の が に が の に が の に が の に 。 に の に に	:授業での学びを将にどう活かすか」を 種情報を加味して マに即した考察を 字程度でメール送信	
4		A織論Ⅲ 組織デザ/ 注部制、マトリック		は論 生態学)	毎回授業テーマと −ワード(カッコ 斗書を読んで理解	内の言葉)を	教び、気づ	:授業のポイント(学 き、実践) を 150 字 潔にまとめてメー	

		Man 7 H 7 M 7 M 7 M 7 M 7 M 7 M 7 M 7 M 7 M	. N/ /= (o ≥ c± ee)
		疑問を持ったテーマ/キーワード について、1分間スピーチでの 発表を前提に予習・準備してお く(1.5時間)	ル送信(0.5 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2 時間)
5	経営組織論IV モチベーション (人間関係論、期待理論、内発的動機づけ)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
6	経営組織論V リーダー (リーダーシップ論、管理者行動論、サーバント・リーダシップ)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード (カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
7	経営戦略論 I 経営戦略と全社戦略 (多角化、シナジー効果、事業ドメイン)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間)2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
8	経営戦略論Ⅲ 競争戦略 (コストリーダーシップ、差別化、集中)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学 び、気づき、実践)を150字 程度で簡潔にまとめてメー ル送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将 来の仕事にどう活かすか」を 文献等各種情報を加味して 授業テーマに即した考察を 述べ500字程度でメール送信 (2時間)
9	経営戦略論Ⅲ 事業戦略 (ファイブ・フォース・モデル、 資源ベース理論)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	 1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を

10	経営戦略論IV アウトソーシング (系列取引、製品アーキテクチャー)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード (カッコ内の言葉) を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	述べ500字程度でメール送信 (2 時間) 1)「QR」:授業のポイント(学 び、気づき、実践)を150字 程度で簡潔にまとめてメー ル送信(0.5 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将 来の仕事にどう活かすか」を 文献等各種情報を加味して 授業テーマに即した考察を 述べ500字程度でメール送信 (2 時間)
11	経営戦略論V カスタマーと国際経営 (パレートの法則、海外直接投資、グローバル経営)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード (カッコ内の言葉) を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
12	技術経営論 I 生産管理 (見込生産と受注生産、ジャスト・イン・タイム、損益 分岐点)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間)2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
13	技術経営論 II 品質経営と製品開発 (フォード・システム、ベンチマーキング、デファクト・スタンダード)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
14	技術経営論Ⅲ イノベーション (イノベーターのジレンマ、ゲートキーパー、オープ ン・イノベーション)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
15	まとめとふりかえり	これまでの授業テーマで一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワード について、1 分間スピーチ	授業の総まとめを行い、授業 でふりかえったポイントを もとに定期試験に備えるこ

での発表を前提に復習・準備し と (2.5 時間) ておく(1.5 時間)							
試 験	筆記試験						
	書 名	著	者	出版社	ISBN	備考	
教科書	大学 4 年間の経営学が 10 時間 でざっと学べる	高橋 伸き	夫	KADOKAWA (2019/1/24)	978-4046040589		
	書名	著	者	出版社	ISBN	備考	
参考書	日本のイノベーションのジレンマ:破壊的イノベーターになるための7つのステップ (第2版)	玉田 俊平太		翔泳社	9784798166384		
	評価方法		評価割合		評価基準など		
成績評価	1) 平常点		40%	①受講姿勢②1分間スピーチ③「QR」「IDR」 成度と提出率		IDR」課題等の完	
方法・基準	2) 積極性	20%	①授業内発表②傾聴力③グループ・ディスカッション貢献度				
	3) 定期試験	40%	※全項目いづれかの成績が 50%未満の場合、合計成績に 関わらず不合格となる場合がある				
備考	全授業にてグループ・ディスカッション (GD) や演習を行うため、発表・討議等受講者同士で積極的に理解・応援し合うポジティブな受講姿勢を高く評価する。一方、予習復習の不履行、課題・レポートの未提出、遅刻・居眠り・不規則発言、発表・討議への取組不足等ネガティブな受講姿勢には厳しい評価を行う。						
フィード バック							
実務経験のあ	らる教員による授業科目(※該当者	音のみ記載)				
授業内容 企業で企画営業、IT、総務人事部門で実務・マネージメント経験ある教員が、経営学の基礎理論を踏まえた上で、 経営学用語とビジネス実務に合致するキーワードを抽出し、ケーススタディを交えながら講義、演習する。							